

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成27年10月15日 (2015.10.15)

【公開番号】特開2014-48382(P2014-48382A)

【公開日】平成26年3月17日 (2014.3.17)

【年通号数】公開・登録公報2014-014

【出願番号】特願2012-189821(P2012-189821)

【国際特許分類】

G 0 3 B 7/00 (2014.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

G 0 3 B 17/18 (2006.01)

G 0 3 B 17/02 (2006.01)

G 0 3 B 17/00 (2006.01)

H 0 4 N 101/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 B 7/00 Z

H 0 4 N 5/225 A

H 0 4 N 5/232 Z

G 0 3 B 17/18 Z

G 0 3 B 17/02

G 0 3 B 17/00 Q

H 0 4 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成27年8月26日 (2015.8.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 6 3 】

ステップ S 5 0 1 の後のステップ S 5 0 2 では、システム制御部 2 1 0 は、タッチパネル 1 0 6 にタッチダウンが行われたか否かを判定する。システム制御部 2 1 0 は、タッチダウンを検出した場合 ( S 5 0 2 で Y E S )、処理をステップ S 5 0 3 へ進め、タッチダウンを検出しない場合 ( S 5 0 2 で N O )、処理をステップ S 5 1 8 へ進める。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 0】

コンピュータを請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載された表示制御装置の各手段として機能させるためのプログラム。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【請求項 11】

コンピュータを請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載された表示制御装置の各手段として機能させるためのプログラムを格納した、コンピュータが読み取り可能な記憶媒体。